

## 第6回宗像市行財政改革推進委員会 議事録（要点筆記）

|     |                          |                      |                                    |
|-----|--------------------------|----------------------|------------------------------------|
| 日 時 | 平成27年9月10日（木）19:00～20:30 | 会 場                  | 202会議室                             |
| 委 員 | 宗像 優<br>（会長）             | 狭間 流<br>（副会長）        | 下田 真也<br>山下 永子 吉田 晴希<br>（五十音順、敬称略） |
| 市   | 中野経営企画部長<br>（事務局：経営企画課）  | 塔野経営企画課長<br>立花行政改革係長 | 尾園 寺嶋                              |

### 1 開会あいさつ（会長）

今回は、先般、事務局から案内があった補助金等の見直しについてのガイドライン（案）ができたので、その内容について、委員の活発な審議をお願いしたい。

### 2 報告

- ・これまでの補助金等の見直しについて
- ・補助金等の定義と予算に占める補助金等の割合について

事務局より概要説明

#### 【委員】

妥当性のところで、10万円を下回るような零細な補助、負担ではないとはどういう意味か。

#### 【事務局】

10万円を下回るような例えば2万のような補助については、D判定で補助金等の廃止となっている。

#### 【会長】

確認させてもらうが、平成16年以降、大幅な見直しを行っていないので、今回はすべて（309件）の補助金等について見直しの対象とするが、法的なもの等については除外し、残りの補助金等をこの委員会で審査していこうということでしょうか。

#### 【事務局】

そのとおりである。審議をよろしくをお願いしたい。

### 3 協議

- ・宗像市補助金等適正化に向けたガイドライン（案）について

事務局より資料に沿って説明

#### 【会長】

最初の頁については、すでに報告事項で説明しているとのことであるが、1頁、2頁について何か意見等があればお願いしたい。

**【委員】**

これは確認だが、現状課題のところ、平成16・19・22年で行革委員会から提言がされているが、この判定結果はすべて反映されているのか。

**【事務局】**

庁内の行革本部で協議した結果、提言とおりに削減されているものもあれば、そうでないものもある。

**【会長】**

それでは、3頁、4頁について何か意見等があればお願いしたい。

**【委員】**

補助金等の創設時において、公益性や必要性を論じるとのことだが、その他の視点については論じないのか。

**【事務局】**

創設時については、5頁のチェックシートを担当課に記載してもらおう。その際は、妥当性や特質性についても、チェックを行う。

**【会長】**

確認だが、補助金等については、公益性、必要性、妥当性については要件だが、特質性については、絶対要件ではないという整理でいいか。

**【事務局】**

そのとおりである。

**【会長】**

3頁の(2)補助金等の創設時における精査「...公益性や必要性等...」となっているため、妥当性や特質性も含んでいると理解できるが、誤解のないように、少しわかりやすく明記してもらおう形をお願いしたい。  
その他、何かないか。

**【委員】**

11年前からすごく変わってきたのが、経営の面でIT環境というのがすごく変わっている。補助金等を見直す視点で、IT環境を改善することによって大幅に削減できる分野がすごく出てきているはずだと思うがどうか。

**【委員】**

関連して、特に負担金については、IT環境の改善という視点は大事ではないか。ただ、補助金については、個人への補助等もあるため、タッチするのは難しいのではないか。

**【事務局】**

確かに、経営の効率化という視点はその通りである。ガイドライン側なのか、チェックシートの中に盛り込めるかわからないが、持ち帰って検討したい。ただ、評価の部分については、この補助金等そのものの効果がどうだったのかというところに重きを置いている。

**【委員】**

追記場所だが、ガイドラインの視点「妥当性」のところに「時代遅れな経費を含んでいない」といったニュアンスの記述を行ったらどうか。不適切な経費ではないので。

**【会長】**

チェックシートの話も出たので、3、4、5、6頁について意見等あればお願いしたい。また、気づいた点があれば、そこも併せてお願いしたい。

**【委員】**

確認だが、特質性の2番目「国や県等の補助、基金運用…」意味合いとしては、他のところから補助金等を確保して、そのまま団体に交付するということが。市の負担はどうなるのか？

**【事務局】**

100%国・県から補助をもらえると有難いが、なかなかそのような制度がないというのが現状である。この記述は、今まで活用していなかった制度をなるべく活用して、市の負担を減らしていこうという趣旨である。

**【委員】**

補助金と負担金、補助金と委託費の違いで何が変わってくるのか。予算配分が変わってくるのか。

**【事務局】**

補助金と委託費については、会計上、13節（委託）、19節（補助金・負担金）となる。負担金と補助金は同じ19節だが、性質が違うため、対外的に説明する場合に、根拠が全然違って来る。

**【委員】**

補助金等の適正化のガイドラインに「委託」が出てきているが、今回の補助金等の見直しと関係ないのではないか。

**【事務局】**

補助金等の見直しを行う中で、その時々で「委託」にした方がよいもの、この事業は「補助」した方がよいものの整理が必要となる。その線引きは難しいが、その考え方を示すことは大事であると考えている。主は「補助金等の見直し」だが、「委託」も全く関係ないということではない。

**【委員】**

補助金等評価シートで見直しが2年前となっているが、3年の設定でも2年前ということか。

**【事務局】**

補助金等の精査や内部決定であるとか、関係団体や対象者に対する周知とかで時間を要するため、少なくとも2年前には評価したいと考えている。委員が言われるように、終期が3年であれば、1年の実績で、終期が5年であれば3年の実績で評価することになる。

**【会長】**

終期の設定は、担当課が決定することだが、その考え方は、担当課に任せるのか。こういう性質のものは3年とか、という基準は特に設けないということか。

**【事務局】**

そのとおりである。あくまでも補助金等を交付している担当課の判断を尊重したいと考えている。

**【委員】**

補助金等のチェックシートで、「市民の社会保障につながる」との記述があるが、「市民の福祉につながる」といった文言に修正したらどうか。

**【事務局】**

平成16年度の行革委員会での文言を使用しているので、再度、内部で協議させてもらいたい。

**【委員】**

補助金等評価シートで、効果測定、具体的な数値等を記述するのはかなり難しいと思うが、ここは補助を受けている団体に記載させてはどうか。というのも、補助を受けている側が、その補助で事業がうまくいくとか、効果がしっかり出るとか主体的に自覚しないと補助の重要性とか理解が進まないのではないかと思う。

**【事務局】**

そのような視点でここの記述を検討していなかったため、再度、内部で検討したい。

**【委員】**

補助金等チェックシートは、団体側から提出するのか、それとも内部の起案時に提出するものなのか。

**【事務局】**

補助金等については、当該年度の予算化がされていれば、団体等が申請して、補助が交付される。この補助金等チェックシートは、補助金等を予算化する前の段階で各課が提出するものである。当然、その後、予算化される段階で議会のチェックもかかる。内部と議会のチェックを経て、補助金等の制度ができる。その時の内部チェック用に使用するシートである。

**【委員】**

補助金等評価シートで、「効果・成果が疑問である」というところだが、「疑問である」という表現が適切でないので、「効果・成果が確認できない」に修正したらどうか。「疑問である」を使用するのであれば、調査等を行ったうえでの判断なのかということになる。

**【事務局】**

委員意見のとおり、「効果・成果が確認できない」に修正したい。

**【会長】**

おおよそ意見が出たので、内容を確認させてもらおうと、

3頁の「妥当性」にITによる団体の経営改善を意識した表現に修正できないか検討をお願いしたい

3頁の(2)補助金等創設時における精査で、公益性や必要性だけではないため、少しわかりやすく明記してもらう形で検討をお願いしたい

5頁の「市民の社会保障」については、文言の修正について検討をお願いしたい

6頁の「補助効果の検証」部分の記述については、補助を受けている団体に記述させたらどうかという意見に対する検討をお願いしたい

6頁の「効果・成果が疑問」を「効果・成果が確認できない」といった文言の修正について検討をお願いしたい

その他、何かあればお願いしたい。

## 4 その他

### ・今後のスケジュール等について

事務局より今後のスケジュール等について説明

**【事務局】**

今回、委員から出た意見を内部で検討して、書面決議でお願いしたいと考えているが、どうか。

**【会長】**

事務局からの提案に対して、意見等はないか。では、修正等については、書面決議でお願いしたい。他に意見等があれば、後日でも構わないため、事務局に知らせてもらいたい。

では、これで第6回の委員会を閉会する。

**【配布資料】**

- ・補助金等の定義と予算に占める補助金等の割合【資料1】
- ・宗像市補助金等適正化に向けたガイドライン(案)について【資料2】
- ・今後のスケジュール【資料3】
- ・平成16年度補助金等の見直しについて(提言書)【参考資料】